

藤田医科大学 職員専用

英文校正・翻訳サービス FAQ

目次

【日英翻訳サービス】	2
Q 原稿の文字数はどのように数えますか？	2
Q 対訳リストとは何ですか？	2
Q 引用や参考文献は省いてほしいのですが。	2
Q 翻訳証明書は、発行してもらえますか？	2
Q アブストラクトに語数制限があるので調整してもらえますか？	2
Q 日英翻訳+フォーマット調整について教えてください。	2
【英文校正サービス】	4
Q 英文校正プランと英文校正 Light プランの違いを教えてください。	4
Q 校正、翻訳を行うのに適切な作業者がいないことはありますか？	4
Q 引用や参考文献は省いてほしいのですが。	4
Q 英文校正証明書は、発行してもらえますか？	4
Q 原稿評価カルテとは何ですか？	4
Q アブストラクトに語数制限があるので調整してもらえますか？	4
Q フォーマット調整について教えてください。	5
Q 無料再校正サービスについて教えてください。	6

【日英翻訳サービス】

Q 原稿の文字数はどのように数えますか？

「丸善」は 2 文字、「まるぜん」は 4 文字といったようにカウントされます。文字カウント範囲は、ご依頼時に特にご指示がない場合、原稿内の全ての文章を対象とします。

Q 対訳リストとは何ですか？

ご依頼原稿の中に出てくる専門用語をどのように翻訳すべきかの対訳を指定するものです。専門性の高い原稿では用語に正しい訳をあてることが困難な場合もあります。ご提供は必須ではありませんが、正しい語彙選びや翻訳者のスムーズな内容理解の観点からもご依頼時にお送りいただくことをおすすめします。なお、リストは原稿内でなく、別ファイルに作成の上、ご送付下さい。

Q 引用や参考文献は省いてほしいのですが。

はい、可能です。ご依頼フォームに自由記入欄がございますので、事前にご指示下さい。校正や翻訳の必要がない箇所は、このように色付けする方法をおすすめいたします。ご依頼時にご指示がない場合は、原稿内の全ての文章、図表を対象とします（埋め込み画像は除く）。

Q 翻訳証明書は、発行してもらえますか？

はい、ご希望のお客様へ無料で発行いたします。ご依頼時または、納品後にサービス担当窓口までお問い合わせ下さい。なお、弊社指定の書式でのみ発行しており、作業に従事する者の氏名・サイン・所在地等の個人情報、いかなる場合も提示することはできません。

Q アブストラクトに語数制限があるので調整してもらえますか？

校正、翻訳ともに仕上がり単語数の調整（削減）は原則対応いたしません。ジャーナル投稿規定にもとづくフォーマット調整をご依頼いただく場合も、語数削減はお受けできかねますので予めご了承下さい。無理な削減や調整は、文章本来の意味が損なわれてしまいます。お客様ご自身でご修正をお願いいたします。

例えば日本語原稿が 550 文字の場合、翻訳後は 250 単語前後に仕上がると予想されます。

Q 日英翻訳+フォーマット調整について教えて下さい。

日英翻訳サービスのフォーマット調整は 2 つのタイプがあります。

① オリジナル原稿と同様のレイアウトを希望。（追加料金：15%）

例えば、段組み設定がされた原稿を英訳後も同じ形式で納品してほしい場合は、こちらをご選択下さい。料金の 15%が追加料金として加算されます。

② ジャーナル投稿規定をもとにフォーマット調整を希望。(追加料金：都度見積)

翻訳後の文章をジャーナル投稿規定に沿ってフォーマット調整してほしい場合は、こちらをご選択下さい。文字数に応じて追加料金は変わるため、都度見積りとなります。

※投稿規定が日本語表記の場合はお受けできません。

※英単語数の削減・調整はフォーマット調整では対応いたしません。また、埋め込み画像の編集は行いませんので、最終的な調整は納品後にお客様ご自身で行っていただくようお願いしております。

ジャーナル投稿規定フォーマット調整の主なポイント

チェック項目	日英翻訳+フォーマット調整（ジャーナル投稿）
タイトルの長さ	△ (文意を損ねず編集が可能な場合のみ行います。)
本文の順序	× (簡単な節の移動は行いますが、Reference の順序に影響する場合は変更を加えません。)
参考文献の必要事項や順序	○
図表の位置や説明文	○…説明文 ×…位置
フォントサイズ、マージン	○
段落の間隔、字下げ、行数、ページ番号	○
略語、句読法、数字、単位記号	○
誤字・脱字	○
語数の調整	× (投稿規定を順守するよう通知のみします。)
図表の編集	× (解像度やファイルサイズ、線の太さなどの細かな確認は行いません。)

※フォーマット調整のポイントは各ジャーナルにより異なります。このリストでは、一般的に要求されるポイントを例に記載しております。

【英文校正サービス】

Q 英文校正プランと英文校正 Light プランの違いを教えてください。

校正作業時のチェック項目が違います。英文校正プランは、英語としての正しさをチェックし、さらに文章の流れや構成にも着目し内容がより効果的に伝わるような書き直しも行います。英文校正 Light プランでは文法チェックが主体となるため、チェック項目は減りますが、その分納期が早くなります。どちらのプランも校正者は 2 名体制です。お客様のご希望に合わせてプランをお選び下さい。

Q 校正、翻訳を行うのに適切な作業者がいないことはありますか？

専門科目別の作業者のネットワークは整備されており、世界中から探します。もし適任者が見当たらない場合には、原稿の分野にもっとも近い専門の作業者が担当いたします。

Q 引用や参考文献は省いてほしいのですが。

はい、可能です。ご依頼フォームに自由記入欄がございますので、事前にご指示下さい。校正や翻訳の必要がない箇所は、このように色付けする方法をおすすめいたします。ご依頼時にご指示がない場合は、原稿内の全ての文章、図表を対象とします（埋め込み画像は除く）。

Q 英文校正証明書は、発行してもらえますか？

はい、ご希望のお客様へ無料で発行いたします。ご依頼時または、納品後にサービス担当窓口までお問い合わせ下さい。なお、弊社指定の書式でのみ発行しており、作業に従事する者の氏名・サイン・所在地等の個人情報、いかなる場合も提示することはできません。

Q 原稿評価カルテとは何ですか？

校正者が英語の質や精度といった観点から原稿を採点し、例文等を用いてアドバイスをします。原稿の内容に直接関係する指摘ではありませんので、今後のご執筆活動の際の参考としてご覧下さい。なお、1000 単語以下の原稿には発行できませんのでご了承下さい。

Q アブストラクトに語数制限があるので調整してもらえますか？

校正、翻訳ともに仕上がり単語数の調整（削減）は原則対応いたしません。ジャーナル投稿規定にもとづくフォーマット調整をご依頼いただく場合も、語数削減はお受けできかねますので予めご了承下さい。無理な削減や調整は、文章本来の意味が損なわれてしまいます。お客様ご自身でご修正をお願いいたします。

Q フォーマット調整について教えてください。

校正文章をジャーナル投稿規定に沿ってフォーマット調整する無料のオプションサービスです。

※投稿規定が日本語表記の場合はお受けできません。

※英単語数の削減・調整はフォーマット調整では対応いたしません。また、図表の細かな編集は行いませんので、最終的な調整は納品後にお客様ご自身で行っていただくようお願いしております。

ジャーナル投稿規定フォーマット調整の主なポイント

チェック項目	英文校正	英文校正 Light
タイトルの長さ	○ (文意を損ねない範囲で、最大20%の語数削減を行います。)	○ (文意を損ねない範囲で、最大10%の語数削減を行います。)
本文の順序	× (簡単な節の移動は行いますが、Reference の順序に影響する場合は変更を加えません。)	× (簡単な節の移動は行いますが、Reference の順序に影響する場合は変更を加えません。)
参考文献の必要事項や順序	○	○
図表の位置や説明文	○…説明文 ×…位置	○…説明文 ×…位置
フォントサイズ、マージン	○	○
段落の間隔、字下げ、行数、ページ番号	○	○
略語、句読法、数字、単位記号	○	○
誤字・脱字	○ (必要に応じて執筆者へ通知します。)	○ (必要に応じて執筆者へ通知します。)
語数の調整	△ (最大で 20% の削減が可能です。ただし、増加は行いません。)	△ (最大で 10% の削減が可能です。ただし、増加は行いません。)
図表の編集	× (解像度やファイルサイズ、線の太さなどの細かな確認は行いません。)	× (解像度やファイルサイズ、線の太さなどの細かな確認は行いません。)

※フォーマット調整のポイントは各ジャーナルにより異なります。このリストでは、一般的に要求されるポイントを例に記載しております。

Q 無料再校正サービスについて教えてください。

英文校正プランをご選択のお客様は、納品後 365 日間は無料で再校正のご依頼が可能です。ご依頼確定時にお送りするメール内に、専用ページの URL が記載されますので、修正原稿はそこからご送付いただけます。

ご利用には適用条件とご留意事項がございます。下記をご確認ください。

- ・ 総単語数が 500 語以下の原稿は、無料再校正サービスの対象外です。
- ・ 対応できるファイル形式は、MS ワードファイルのみです。
- ・ 初回の原稿に 20%以上の手直しが加えられた原稿は、有料再校正サービスをご案内します。
- ・ 初回の原稿より 15%以上単語数が増えた場合は新規、または有料再校正サービスをご案内します。
- ・ 新たなセクションや段落が加えられた原稿は、無料再校正サービスの対象外です。
- ・ 修正部分だけではなく、原稿のすべての部分をお送り下さい。
- ・ ご依頼の際は、出来る限り変更の理由や意図などをお知らせ下さい。
- ・ ジャーナル投稿規定に基づくフォーマット調整はいたしません。また、単語数の削減、調整は対応いたしません。